

《研究課題名》

成人期に発見された停留精巣の臨床的特徴に関する後方視的研究

《研究対象者》

2007 年 1 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日の間に、当院泌尿器科において、18 歳以降に停留精巣と診断され、外科的介入が行われた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方のカルテ情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2027 年 3 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学泌尿器科学講座 小林憲市

（２）研究の意義、目的について

《意義》

成人期に外科的介入を行われた停留精巣に関するデータは国内外で限られており、本研究はその空白を埋めるものです。臨床的特徴や管理上の課題が明らかになることで、今後の診療方針を検討する上で重要な実臨床データが得られる可能性があります。

《目的》

成人になってから発見された停留精巣の臨床的特徴や背景を明らかにし、今後の診療に役立てることを目的とします。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

本研究は当院で成人期に診断された停留精巣症例を対象とした後方視的記述的研究です。各症例の臨床経過および診療内容を記述的に整理・解析することを目的とします。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

診療録、検査記録、手術記録、病理報告書などから以下の個人が特定されない情報を抽出し、研究に使用します。具体的には、治療時年齢、基礎疾患の有無、患側、診断契機、介入方法決定の過程、術式、組織診断（施行

した症例のみ) 合併症になります。

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報は一切収集されません。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 泌尿器科学講座 小林憲市

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

メールアドレス：den4low@bell.e.shiga-med.ac.jp